

新刊紹介

「第3版 鉄鋼便覧 第II巻 製鉄・製鋼」刊行のお知らせ

本会が予てより企画・編集を進めてまいりました「第3版 鉄鋼便覧」(全6巻)が、10月下旬刊行予定の「第II巻 製鉄・製鋼」より順次刊行の運びとなりました。

旧版刊行以来14年を経た今日、わが国の鉄鋼技術の進歩発展は誠に著しく、最新の技術に基づいたデータを集積したハンドブックの刊行を、との会員諸兄よりの強い要望があり、改訂を進めて参りました。しかし、これらの膨大な知識と情報を一冊にまとめることは困難であり、編集委員会および各分科会において度重なる検討の結果、今回の大改訂に際しては、鉄鋼関係技術者が実際の作業・研究に役立つデータを、現場的技術体系ならびに理論的な観点から総合的に網羅するとの一貫した編集方針のもとに、構想も新たに全6巻(7分冊)により専門別に刊行することと致しました。

今回刊行の「第3版 鉄鋼便覧II製鉄・製鋼」は、その第1冊目であり、発刊に際し、下記の通り会員特典を設けましたので、ぜひこの機会をご利用頂くようおすすめ致します。

記

第3版 鉄鋼便覧 会員特典について

1. II製鉄・製鋼 10月下旬刊 B5判 840ページ
2. 会員特価 19,500円(定価23,000円)(送料本会負担)
3. 申込方法 本号に同じ込みの会員特価申込書を用いて本会宛お申込み下さい。
4. 申込期限 昭和54年12月末日
5. 現品の送付および支払方法
本会に申し込まれた書籍は丸善(株)よりお届けします。なお、代金は先に送付の郵便振替用紙を用いて送金願います。
この振替用紙は鉄鋼便覧購読のみに使用し、他の用途にはお使いにならぬようご注意ください。
6. 注意事項
 - ・本特典は丸善本・支店および一般書店では扱っておりません。必ず本会宛お申込み下さい。
 - ・郵便振替、現金書留等での送金はご遠慮下さい。必ず指定の本会口座へ振込まれるようお願いいたします。
7. その他 第II巻以降の刊行については、発行時期、価格等決定次第お知らせ致します。

第II巻 製鉄・製鋼 主要内容

1 製鉄

原料

鉄鉱石/石炭/その他製鉄・製鋼用原料/フェロアロイの原料/サンプリング

焼結

焼結理論/焼結原料/焼結設備/焼結操業/焼結鉄品質

ペレット

ペレット理論/ペレット原料/ペレット設備/ペレット操業/ペレットの品質

コークス

原料炭の諸性質と配合/コークス設備/コークス操業/コークス品質/新コークス製造法

高炉

高炉の理論/原燃料/操業/設備/銑鉄および副産物

特殊製鉄

直接製鉄のプロセス/還元鉄の利用

フェロアロイ

製造設備/各種フェロアロイの製造

2 製鋼

転炉製鋼法

溶銑の予備処理法/上吹転炉製鋼法/底吹転炉製鋼法(純酸素底吹)

平炉製鋼法

設備/原料/操業/熱精算および物質精算

電気炉製鋼法

アーク炉/誘導炉

造塊法

設備/造塊作業/特殊造塊法/鋼塊品質/

連続鑄造法

総論/凝固/設備/操業/鑄片の品質/

製品の品質

特殊精錬

量産鋼の炉外精錬法/ステンレス製鋼法/

高級鋼の特殊溶解精錬法

製鋼用耐火物

溶銑予備処理用耐火物/転炉用耐火物/平炉用耐火物/

電気炉用耐火物/造塊用耐火物/連続鑄造用耐火物/

特殊精錬用耐火物

鉄鋼便覧全 6 巻の構成および主要内容

I 基礎

基礎理論／製鉄基礎／製鋼基礎／凝固現象／塑性基礎／金属の結晶と構造の物理的性質／金属組織力学的性質／化学的性質／計装／制御及び自動化／計測法／コンピュータ／保全

III(1) 圧延基礎・鋼板

熱技術／スケール／圧延及び矯正理論／圧延潤滑／分塊／厚板／熱延／冷延

III(2) 条鋼・鋼管・圧延共通設備

形鋼／棒鋼・線材／継目無鋼管／溶接鋼管／冷間加工／精整／試験・検査／加熱炉設備／機械設備／電気設備／補助設備

IV 鉄鋼材料・試験・分析

鉄鋼材料概論／鉄鋼材料各論／分析試験／腐食試験／物理冶金試験／材質試験／非破壊試験／材料試験／溶接性試験

V 鑄造・鍛造・粉末冶金

鑄造品の生産統計／鑄造品の特徴と設計／造型材料と造型法／鑄物工場の設備とレイアウト／鑄鉄鑄物の製造法と材質／鋼鑄物の製造法と材質／製鉄用鑄物／特殊鑄造法とその製品／鋼の鍛造概論／鍛造機械／自由鍛造／型鍛造／特殊鍛造法／粉末冶金の総説と基礎理論／原料粉／粉末の調整／圧縮成形／焼結／後処理／特殊製造法／焼結材料／部品の形状、寸法、精度／部品の製造例

VI 二次加工・表面処理・熱処理・溶接

引抜加工／冷温間鍛造／転造／ワイヤフォーミング／チューブフォーミング／プレス加工／製缶／ロール形成及びスピニング／表面処理／表面処理鋼板／鋼材の表面処理／熱処理作業／熱処理設備／表面硬化／溶接法／熱切断／各種材料の溶接／溶接継手の設計・施工／溶接の試験・検査及び管理

書 評

「技術者のための文章作法」

宮 川 松 男 著

言葉も、文字も、そして文章も、いふなれば人間社会の約束ごとであり、ルールに従って使わなければ、どんなすばらしい内容のことでも、それを正確に他人に伝えることはできない。このことは技術の世界でも同じである。そして、技術者・研究者が、書くことによつて、記録し、発表し、あるいは報告することの頻度も重要性も、まだまだ増加するものと思われる。

本書は、こうした現状に役立つよう、文章の書き表わし方、及び図・表の使い方などについて、著者の体験を通じてわかりやすくまとめたものである。研究論文や、展望、解説など、いろいろのカテゴリーのものについて、それぞれの目的や考え方を示し、また構想をまとめるための資料の収集、メモの取り方、筋書をまとめる手順などを解説している。さらに、よい文章を書くにはどうしたらよいか、書き表わし方の標準、事例研究と練習方法、図・表の役割とその使い方、技術記事の標準的な構成とまとめ方など、そして原稿を仕上げるときのチェックリストまで添えて懇切丁寧に述べている。また付録では、異字同訓の漢字、及び漢字と仮名の使い分け用例、いろいろの記号、印刷校正記号まで、まことに行き届いた構成である。本書の性格上、用字・用語・文章なども、もちろん模範的であり、技術者・研究者が座右において、おりに触れて参考にされることをお勧めしたい。(田中良平)

(日刊工業新聞社、A5判、140ページ、定価 980円)